

## 令和6年度 放射線・防災教育指導力向上講座 実施要項

## 1 目的

放射線・防災教育の充実にに向けた指導のポイントを学び、授業、学校行事等における指導内容を構想する研修を通して、その識見と指導力の向上を図る。

2 期日 令和6年8月2日（金）

3 会場 コミュタン福島 福島県環境創造センター交流棟（田村郡三春町深作 10-2）

## 4 日程・内容

時 間	内 容
9:30～ 9:50	受付・諸連絡 ※受付場所 学習室A
9:50～10:00	開 会 学習室A
10:00～12:00	講義・演習「放射線教育の充実に向けて」Ⅰ-3 福島県環境創造センター 業務責任者 檜山 徹
13:00～14:00	施設の見学
14:00～15:00	講義・演習「そなえるふくしま防災出前講座について」Ⅰ-3 福島県危機管理部 危機管理課 主事 羽田あかね
15:00～15:45	演習・協議「指導内容の構想」Ⅱ ・授業構想の作成 ・授業構想の発表と共有
15:45～16:00	閉 会

※Ⅰ、Ⅱ等は、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第2版】(改訂版)」で、該当する領域を示しています。

## 5 準備物等

## (1) 書籍及び資料等

- 「ふくしま 放射線教育・防災教育指導資料（活用版）」 平成29年3月 福島県教育委員会
- 「ふくしま 放射線教育・防災教育実践事例集」 平成31年3月 福島県教育委員会
- その他参考となる図書や資料

## (2) 事前課題

- 「指導内容の構想」で使用する授業構想準備シート
  - ア 様式等
    - ・様式、内容

授業構想準備シート（例）			
学校名		氏名	
学習内容	〈例〉〇〇と災害 身のまわりの放射線 など		
校種・学年	小学校・中学校 ○年	教科等	理科 学級活動 など
地域や児童（生徒）の実態		本時のねらい	
<p>毎年、地震と火災の避難訓練は行っている。近くに〇〇山があり、噴火の可能性があるが、火山噴火時の行動に対する予備知識はあまりない。</p> <p>町のハザードマップや、災害発生時の避難所等についての知識の有無を調査したところ、知っている児童（生徒）は半数未満であったため、児童（生徒）に周知していく必要がある。</p>		<p>自分の住む地域で起こりうる災害について話し合い、災害が起こった際に、何を考え、どのように判断し、行動すればよいかについて考えることができる。</p>	
授業の流れ			
※授業の流れについては研修の中で検討する。			

※A4判縦置き1枚とする。

※どの教科の、どのような内容を想定して授業づくりを行うかを決めた上で、下記の内容を参照し、地域や児童（生徒）の実態と授業のねらい等を記載する。

【放射線教育】の教科等：理科、保健体育、家庭科、学級活動、総合的な学習の時間 等

【防災教育】の教科等：社会、理科、学級活動、総合的な学習の時間、学校行事 等

#### イ 提出方法

・7月19日（金）必着

・Emailで下記「8 問い合わせ先(2)研修内容について」へ送付

※件名を「専門放射線防災－課題」とし、本文には所属校と氏名を入力する。

#### (3) その他

- 個人用FCSメールアドレス・パスワード等を確認して、使用できる状態にしてください。
- 昼食は各自で準備してください。周辺に食堂等はありません。

#### 6 留意事項

- (1) やむを得ず欠席・遅刻・早退をするときは、所属長に連絡し、指示を受ける。
- (2) コミュタン福島の駐車場を利用してください。

#### 7 研修講座受講後のアンケートについて

受講3か月後以降に、教育センターWebサイトの「各種様式」内のフォーム「研修講座受講後のアンケート」より研修の成果とその活用について回答してください。

#### 8 問い合わせ先

- (1) 欠席等について（市町村立学校は、市町村教育委員会・教育事務所経由）

福島県教育センター 総合企画チーム

TEL 024-553-3193

Email center-kikaku-gr@fcs.ed.jp

- (2) 研修内容について

福島県教育センター 教員研修チーム 放射線・防災教育担当

TEL 024-572-4183

Email kyouin-kenshu-gr@fcs.ed.jp